



# 防災だより 2021年8月号

**第33号**  
 令和3年8月31日発行 関ヶ谷自治会 防災部/防災ボランティアグループ  
 ☆防火チーム☆情報・通信・電気チーム☆食料・物資チーム☆医療・介護チーム ☆防災資機材取扱チーム 自治会館 ☎784-4447

## “各ハザードマップ”で自宅の災害危険度を知る

～エ～～！ 関ヶ谷地区でも浸水災害・土砂災害の危険があるの～

新型コロナが日本中に猛威を振るっている中、自然災害による被害が出て“複合災害”と化しています。被災を少しでも減らすには、**地域の特性を正しく知って、普段からの準備が重要**です。そのためには、

- ・非常持ち出し品の用意、
- ・家具等の転倒・飛散防止対策、
- ・非常簡易トイレ、水・食料品などの備蓄品の用意や、
- ・気象情報から早め早めの対策と避難行動をする

こと、そして情報入手の手段を決めておくことです。

加えて、自地域の「**浸水ハザードマップ(洪水危険度地図)**」を確認して、避難経路や避難のタイミングなど予め「**マイ・タイムライン**(下記参照)」を作成することも、わが身や家族の安全確保には必要なことです。

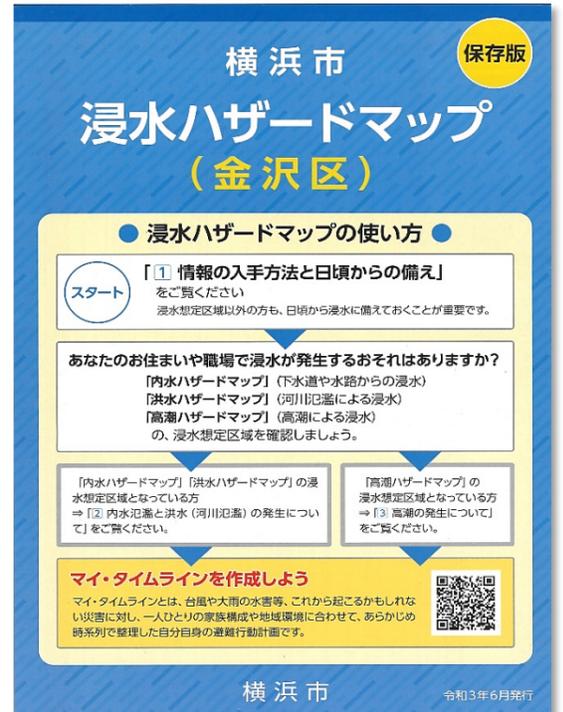
この浸水ハザードマップは、7月に横浜市より各家庭に配布されました。浸水ハザードマップには「**内水ハザードマップ(下水道や水路からの浸水)**」「**洪水ハザードマップ(河川氾濫による浸水)**」「**高潮ハザードマップ(高潮による浸水)**」の3つがあります。



関ヶ谷地域にお住いの方は、特に「**内水ハザードマップ**」を確認してください。**意外でしょうが関ヶ谷地域でも場所によっては最大1mの床上浸水(大人の腰当たりの高さ)が想定されています。**

また、同地域には**土砂災害警戒区域(急傾斜地)**がありますので「**土砂災害ハザードマップ**(「横浜市土砂災害ハザードマップ」で検索)」も併せて確認して**自宅の危険度を把握**してください。

内水:大雨で下水道管や水路がいっぱいになり、マンホールや雨水ますなどから水があふれること



## ■マイ・タイムラインを作ろう ～自分(我が家)の避難行動計画を作って台風や大雨に備える～

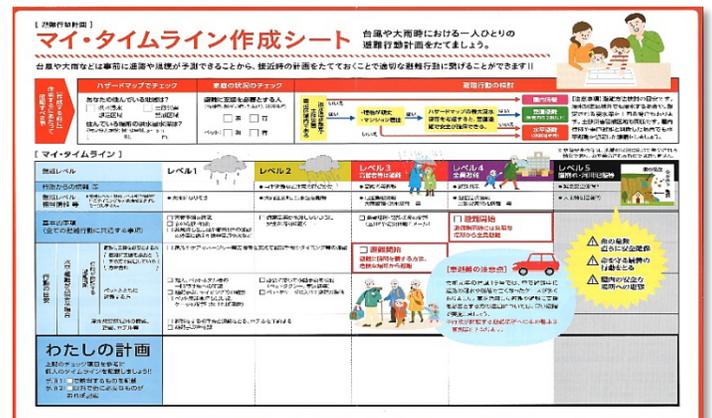
皆さん、横浜市から「マイ・タイムライン作成シート」が各家庭に配布されたのをご存じですか？このマイ・タイムライン作成シートは、**予め作成してこそ意味を持ちます**。保管するだけではただの紙切れで資源ごみの足しにもなりません。

- マイ・タイムラインとは、
- ✓台風や大雨の水害等、
- ✓これから起こるかもしれない災害に対し、
- ✓一人ひとりの家族構成や地域環境に合わせて、
- ✓あらかじめ時系列で整理した自分自身の避難行動計画のことです。

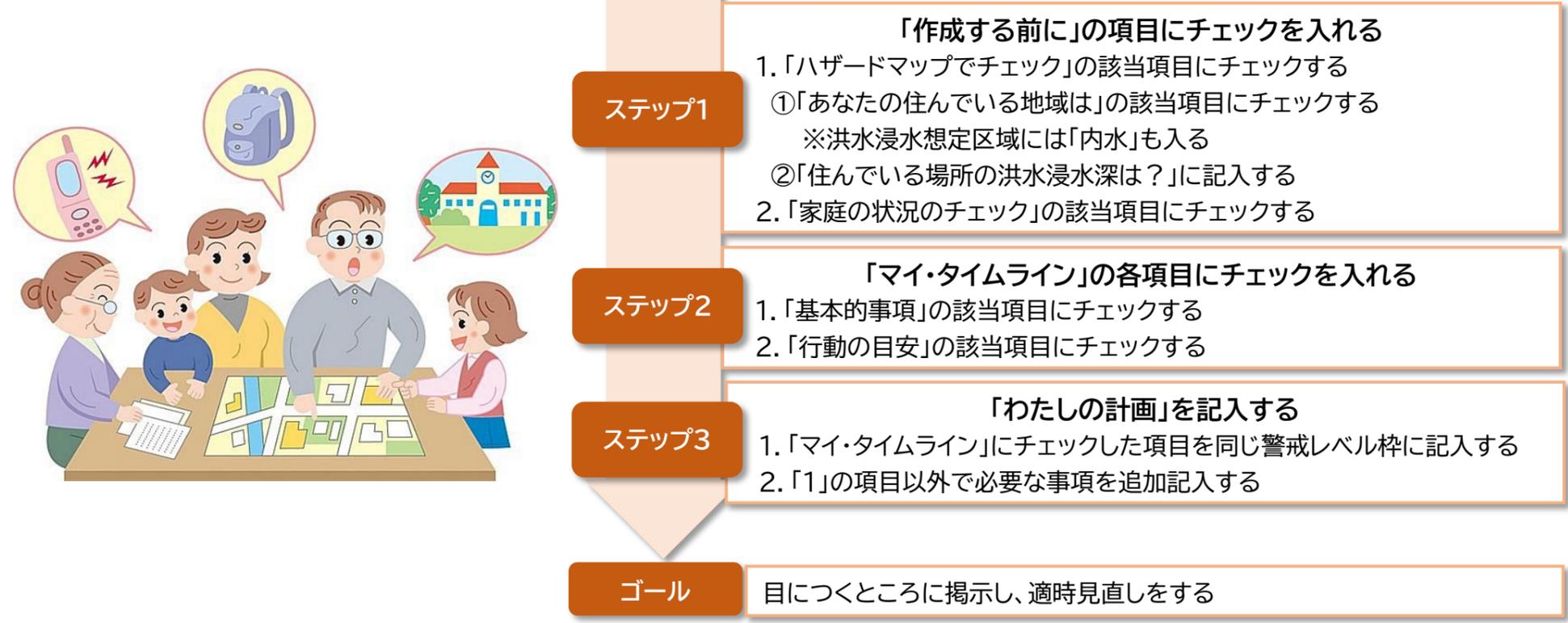
特に避難行動時に「**支援者**」が必要な方は、**家族やケアマネジャー等の助言を受けながら作成**することをお奨めいたします。

シート表面の「風水害に対して事前に備えておくべきこと」は、マイ・タイムライン作成にあたっての予備知識や事前準備に関する内容が記載されています。それらを理解したうえで、「マイ・タイムライン作成シート」の作成に当たります。

作成は、下記の3ステップで終わりです。なお、作成要領については、**横浜市のホームページで動画で紹介しています**ので、ご確認ください。



マイ・タイムライン 横浜市 検索



## 消防職員による“防災訪問”を知ってました？

～消防職員が火災の危険をチェック～

下記のグラフの通り住宅火災で亡くなる方の約7割は、65歳以上の高齢者です。

横浜市では、火災の被害から高齢者を守るため、消防職員が高齢者宅を訪問し、火災予防のアドバイスを無料で行っていきます。火災発生の危険が潜む箇所を、消防職員が自宅まで来てくれて、本人と一緒にチェックをしてもらえます。

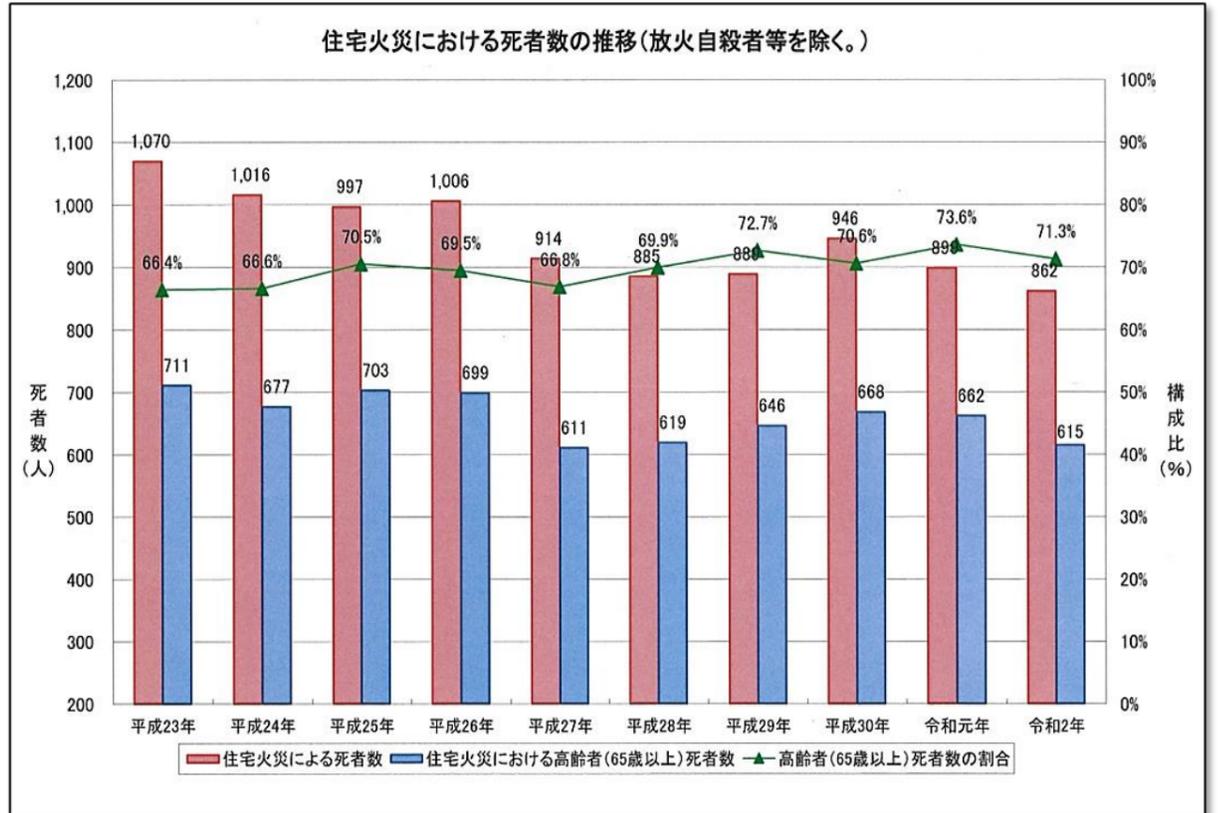
コンセントが古くなってきた、防火などについて心配事や困りごとなどがありましたら、下記へ連絡してください。

### 高齢者の皆様を火災の被害から守ろう！

## ストップ！ 住宅火災



住宅火災で亡くなる方の約7割は、65歳以上の方です。



- ❖ 対 象: 本人または家族が希望する高齢者が住む世帯などが基本
- ❖ 訪 問: 横浜市消防職員(職員証を携行)
- ❖ 点 検: コンロ、ストーブ、たばこ、コンセントなどの火災発生の危険が潜む箇所等の点検  
また、住宅用火災警報器の取付のサポート  
・玄関先で火災予防のポイントをお話します  
・希望により、室内を確認して住宅防火のポイントをご家族の方と一緒にチェックしてお伝えします
- ❖ 期 間: 通年実施
- ❖ 申 込: 金沢消防署 ☎781-0119(消防署総務・予防課予防係)



### 民生委員の日常・災害続きの今日だからこそ地域で見守りを！

民生委員 第一地区担当 生駒多美子

“ボンジョルノ、調子はどう？”——テレビ番組「小さな村の物語イタリア」でよく交わされる言葉です。陽気でオープンマインドのお国柄なのか、赤ちゃんからお年寄りまで、「共生共助」の心が美しい景色と共に伝わってきますね。

私たち民生委員は、希望される75歳以上の一人暮らしの方などを対象に、健康状態や日々の暮らしでお困りの事がないかを、「定期訪問」をして確認しています。訪問は年3回程行って、今年度は6月に、ワクチン接種の予約確認も兼ねて行いました。



ワクチン予約の電話をかけ続けても繋がらず、本当に大変だったという方もいらっしゃいましたが、殆どの方がご自身の努力や、ご家族のサポートもあり、取れたと聞いて安堵しました。

ある方は、「先に息子や娘、現役世代への接種の方が良いのでは」と、ワクチン対応の大変さや問題を語っていたのが印象に残っています。

今月に入り神奈川県はじめ、感染者数が過去最大という県が多数出て、感染爆発の様相で拡大が止まらない現状の中、西日本を中心に浸水災害、土砂災害も同時多発的に発生し自然災害の脅威を感じると同時に、被災ニュースに胸が痛みます。

ご近所に高齢のご夫婦だけの世帯や、何らかの事情で急に一人暮らしになった方がいらしてお困りの様子を見聞きしたら、ご近所同士で声を掛けたり、民生委員に連絡いただくなど、地域の見守りを大切にしていけたらと思います。

### 防災自助奮闘記

防災VG 副代表 向笠 由貴子

関ヶ谷の地に居住して早42年有余。当時に建てた我が家は耐震工事をしていません。が、自治会発行の「防災の備え」を参考にして、我が家なりの防災・減災のための“自助”に努めています。

私が防災VGに参加したのは、ご近所の方からの誘いがあり、“何事も勉強、何事も経験”をモットーに防災の知識がないままに登録をしました。

防災VGに参加して学んだことが沢山あります。防災の備えもしかり、備蓄品を揃えることもそうです。

で、もう一つ「テント」を購入しました。避難所に避難するより自宅避難をするにはどうしたらよいかと考えた答えが庭にテントを張って寝泊りすることでした。



まだ一度も袋から出したことがないのですが、この夏に試してみるつもりです。

今年も9月18日に安否確認訓練が実施されます。訓練は、発災時の避難行動に役立つと考え毎回参加しています。……自助は必要、共助も必要